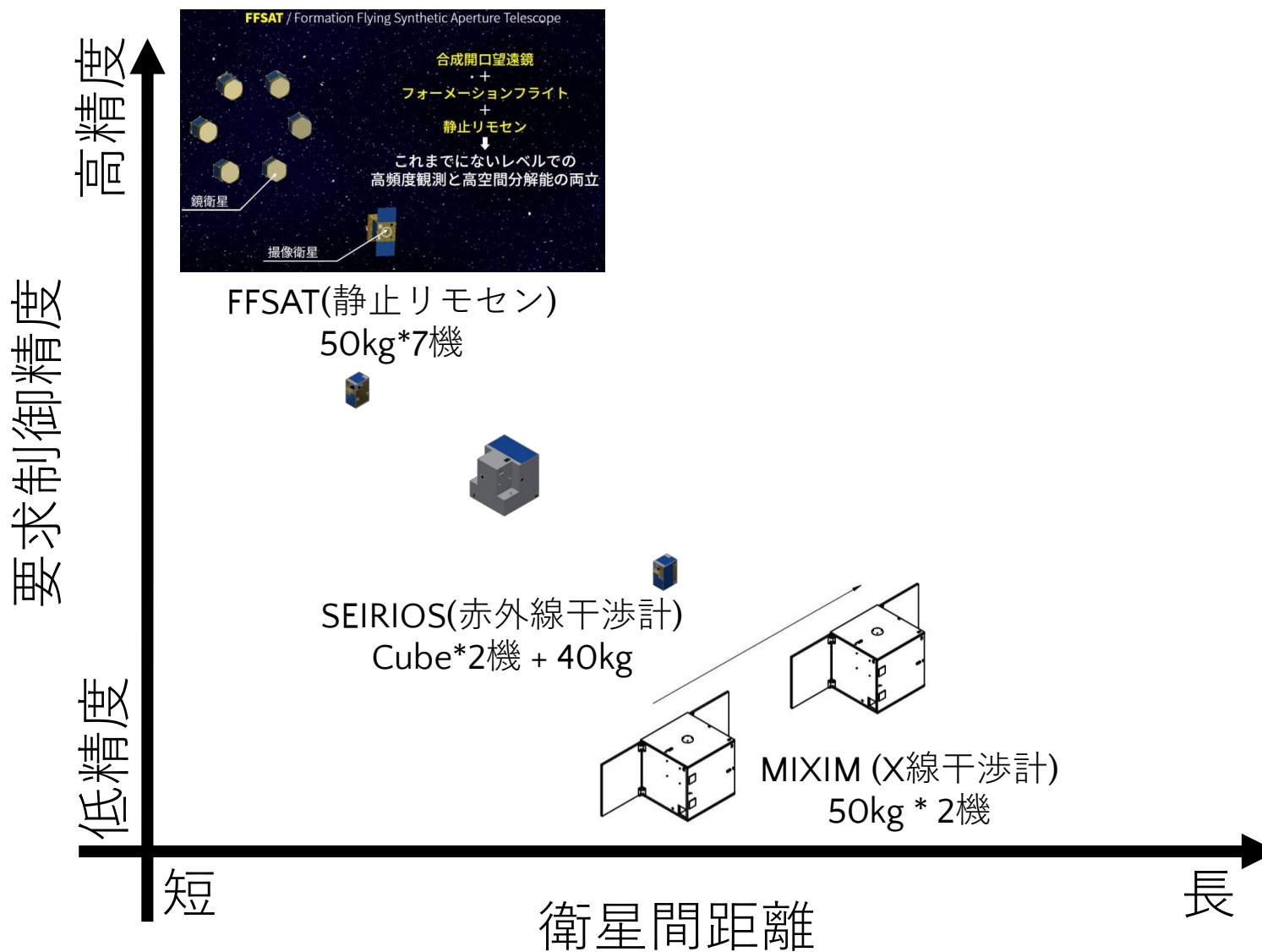


①発表番号	②セッション	③セッション名	
8-6	セッション8	衛星バス/システム技術アイデア	
④発表タイトル			⑤発表者所属・氏名
超小型衛星を利用した高精度編隊飛行技術実証			明星大学 五十里 哲
⑥著者	⑦所属	⑧代表者メールアドレス	⑨現在の状況：
五十里哲	明星大学		概念検討中
⑩概要（200字程度）		⑪本ミッションの狙い(実現したいこと)	⑫実現のキーとなる要素技術
<p>制御精度がcmからmmを下回る高精度編隊飛行が実現できると、高分解能赤外線干渉計、オカルターによる系外惑星観測、重力波望遠鏡などの最先端理学観測の実現につながる。また、静止光学衛星の高分解能化など実利用ミッションにも貢献することができる。本発表では、高精度編隊飛行技術を獲得するために超小型衛星を活用することを提案しその技術戦略を述べる。特に、通常精度の編隊飛行技術が必要なプレーヤーも含め、日本全体で編隊飛行技術を如何に強固なものにしていくかについての戦略も議論する。</p>		<p>高精度編隊飛行技術の実証とその実証を介して通常精度の編隊飛行技術の成熟化</p>	<p>編隊飛行制御 その基礎となるオンボード相対GNSS航法、高精度推進器、高精度相対位置・姿勢センサ</p>
⑬実現する機器・技術のスペック・機能		⑭開発状況・計画	
<p>制御精度cmからmm以下の高精度編隊飛行制御 オフラインでの相対位置決定ではなく、オンボード・リアルタイムで上記精度を達成することが重要</p>		<p>2022年に同様に高精度編隊飛行技術と赤外線宇宙干渉計ミッションSEIRIOSについて発表を行った。そこからSEIRIOS計画実現に向けて着実に研究・開発に取り組んできた。 その他の超小型衛星を利用した高精度編隊飛行ミッションについても概念設計・研究を行なっている。</p>	

筆者と東京大学ISSLが中心に検討してきた超小型衛星編隊飛行ミッション



⑩その他技術詳細（必要に応じ）

⑪参考文献など（optional）